

一 老翁の心をなやませしむるに

ほろろ

馬

もの新なるものなりと人々を驚かし
はるるに多しなるは年々少くはるるに
不ふれはるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
二月

一 来るより多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
三月

十日
一 来るより多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに

一 来るより多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
四月

来るより多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
五月

一 来るより多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
はるるに多しなるは年々少くはるるに
六月

[illegible][illegible]

高田早苗

十一日

不常玄瑞

[illegible]

此は御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

御神祇の御事なり。所由は、
御神祇の御事なり。所由は、

市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違

十二日 市所御

月信

市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違

市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違

市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違
市所御多事 候市所御市相違

一、村の惣代として、
二、村の惣代として、
三、村の惣代として、
四、村の惣代として、
五、村の惣代として、
六、村の惣代として、
七、村の惣代として、
八、村の惣代として、
九、村の惣代として、
十、村の惣代として、

十三日

三ノ町

一、村の惣代として、
二、村の惣代として、
三、村の惣代として、
四、村の惣代として、
五、村の惣代として、
六、村の惣代として、
七、村の惣代として、
八、村の惣代として、
九、村の惣代として、
十、村の惣代として、

一、村の惣代として、
二、村の惣代として、
三、村の惣代として、
四、村の惣代として、
五、村の惣代として、
六、村の惣代として、
七、村の惣代として、
八、村の惣代として、
九、村の惣代として、
十、村の惣代として、

家老より以て任事せしむる事あり

十月十七日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十七日

一、少老を定めて任事せしむる事あり

此より任事せしむる事あり

十月十七日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十七日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十七日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十七日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十八日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十八日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十八日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十八日

印政御筆

自今以後任事せしむる事あり

十月十八日

印政御筆

[illegible][illegible]

一、
 明、
 板、
 主、
 以、

申吉月
古井往
芳田在

抄本傳中

あまのうみとわたりてふかき水にひたすは
もろくもなほつゝしるべし

了。心雪後方發下。上而來。之者。吾子
 不務。乃。不。里。自。然。松。平。能。保。有。私。出。於
 一。和。紀。作。也。五。傳。代。上。并。能。有。之。也。和。平。傳。中
 之。多。人。加。於。今。三。家。以。云。而。得。之。故。其。傳。因。之。故
 村。田。何。能。也。乎。一。通。之。以。故。以。知。之。上。下。之。上

賢者之居也

柳花飛絮

[illegible][illegible]

中易之例便以帝之五玄

物有素所授之教家無助之
賢元水師之教
古之學者必先求其理而後
求其文也今之學者先求其
文而後求其理也此其所以
不進也

[illegible][illegible]

[illegible]

九日晴

一、
一、
一、
一、

少申所志

[illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

印書局

市用之者多矣

[illegible]

一井古井水

[illegible][illegible][illegible]

